



## 私の思い出

日本建築構造技術者協会九州支部顧問

**濱田 敬二**

福岡県建築鉄骨協議会が創立 10 周年を迎えられましたこと、大変喜ばしく思っております。

私自身、この会には創立の準備段階から携わらせて頂きました。九州大学の河野昭彦教授、福岡県鉄構工業会の一口孝道理事長（当時）、同・中野盛行専務理事らとともに建築鉄骨製品の品質向上と鉄骨に関わる諸問題について、どう産・官・学が対策を講じていけばよいのか真剣に議論し、結果としてこうして鉄骨協議会が設立に至ったことは大変意義のあることであり、あらためて、私がこの会に参画できることに関係者の方々に対して感謝申し上げたい。

思えば、私の専門はRC構造からスタートしましたが、年を追うごとに鉄骨構造に魅せられ、今ではあらゆる構造物の中で、鉄骨構造の右に出るものはないのではないかと思えるほど、鉄骨への魅力を感じている業界の一人です。

JSCA九州支部長を務めていた当時から、特に、福岡県鉄構工業会との関係は深く、いろいろな交流をさせて頂きながら、鉄骨構造の未来像について、鉄骨ファブ企業の皆さまと議論を重ねてきたこと、鉄構組合からの講師派遣の依頼や認定審査員として職務が全うできたことなどファブ企業の方々との付き合いは、本当に私の人生にとって財産となりました。

こうした流れの中で、福岡県建築鉄骨協議会における自分自身の最大の思い出は、木と鉄の環境共生研究を、日本鉄鋼連盟鋼構造九州地区サブネットワークのワーキンググループの中で取りまとめることができ、皆さまの前で発表できたことでした。木と鉄を組み合わせるために建設コスト、ライフサイクルコストの各検証やそれぞれの材料の特性を活かした設計・施工スタイルの確立など、さまざまな観点から皆さまの前で現状を報告できたことは、とてもありがたいと感じています。

当協議会が、今後も鉄骨構造の普及と業界の地位向上のためにご尽力され、私もその会員として、今後もなにかの一助を提供することができれば、幸いです。今後も皆さんで鉄骨構造の魅力をたくさん発見し、若い人たちへの啓もう活動をして参りましょう。